

No.126
2024.1

北いぶき



11月7日から8日にかけてJA北いぶき女性部妹背牛支部フレッシュミズ道内研修を行いました。
詳細は19ページをご覧ください。

員	監	監	常	代	理	理	理	理	理	理	沼	秩	妹	常	常	代	代		
外			勤	表							田	父	背	務	務	表	表		
監			監	監							地	別	牛	理	理	理	理		
事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	区	地	区	事	事	事	事		
											代	区	代						
											表	代	表						
											理	表	理						
											事	事	事						
											事	事	事						
外	近	高	沼	中	板	上	横	西	桃	合	堀	中	堀	向	德	殿	澤	中	黒
職	藤	橋	本	川	垣	村	山	谷	野	田	田	易	田	井	本	村	田	易	田
員	英	成	一	幸	昌	昌	貴	和	高	利	正	一	照	照	照	照	照	照	洋
一	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明
同	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

新年あけまして
おめでとーございませう

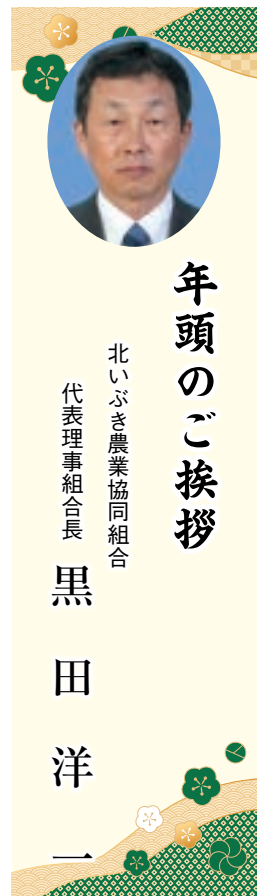


年頭のご挨拶

北いぶき農業協同組合

代表理事組合長

黒田洋一



新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、ご家族おそろいで輝かしい新年を迎えられましたこととお喜び申し上げます。

昨年令和五年は、依然続くロシアのウクライナ侵攻等の世界情勢不安と円安による資材高騰、生活面でも食料品を中心にした物価の上昇、私たちを取り巻く環境は厳しさを増しました。

そのようななか農作物は夏場の高温により一般的に被害の多い作物となりました。基幹作物である水稲の作況指数は北空知「一〇二二」となりましたが、農家の実感からは少し乖離しているように感じます。特に品質面において乳白腹白着色米が多くさらにタンパク値も高いものが生産されました。畑作、花卉野菜においても高温の影響を受けブロッコリー等露地野菜

の影響は多大でありました。水稲をはじめ畑作野菜農作物全般にわたり高温対策をすすめていくことが必要と感じています。昨年の作物の中では麦は前年の収量を上回り、花卉はここ数年単価高で推移しており比較的良い成績でありました。総じて苦勞の多い年でありましたが、一方で米の需給は均衡化に向かっており、追加精算金等で前年の令和四年の農産物販売総支払高の水準まで戻せたことは救いでありました。生産者の皆さんには今年度の生産に向けて意欲を向上させていただきたい思いであります。

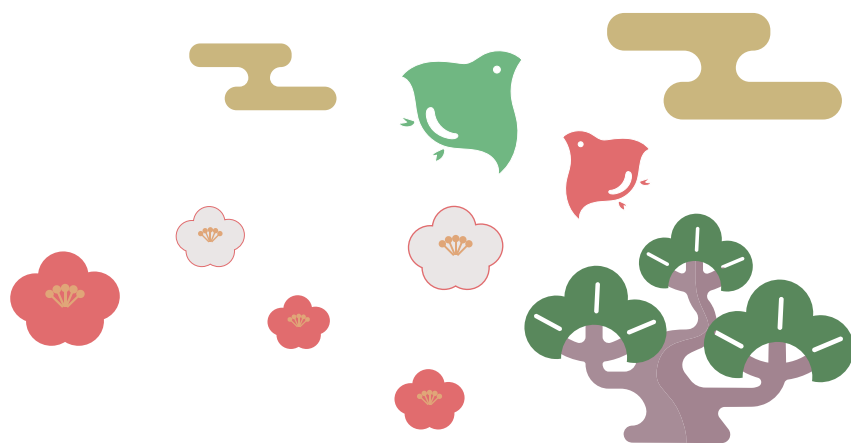
米の販売は早期契約を中心に有利販売を進めていきます。認められ求められる産地として、品質面の安定向上と安定的集荷が至上命題となります。今年度から始まります第八次地域農業振興計画にお

いて北いぶき管内全戸を対象として土壌診断を行います。生産者の皆さんには施肥設計の見直し等を行っていただき安定生産につなげていただきたいと思います。

また、懇談会等で説明させていただきます。ただいま女性役員の登用に ついてですが、女性部と女性農業者の人たちとの話し合いを深め、現在登用に向け進めている段階であります。初めての試みで戸惑うことも多いところですが、令和七年の役員改選期に実現するよう農家組合員すべての人達の理解をお願い申し上げます。

環境の変化が激しく課題多き昨今であります。組合員皆様のご支援ご協力をいただきながら、本年も役職員一同努力させていただく所存であります。

令和六年が希望に満ちた明るい話題が多い年であること。農家の皆さんの汗が報われる豊穡の年となること。そして、地域の皆さんの笑顔があふれる幸多き年であり、また、今年度ご挨拶を念願し、年頭のご挨拶を申し上げます。

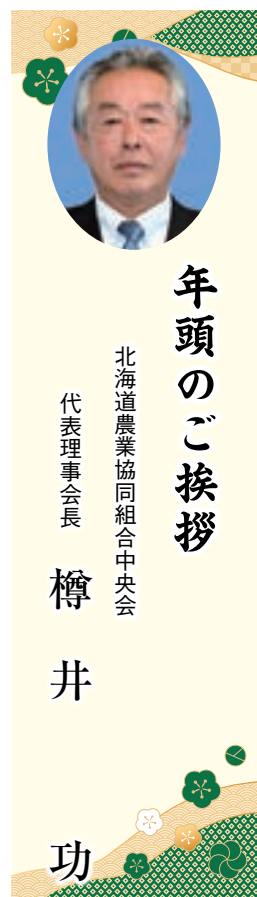


年頭のご挨拶

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長

樽井 功



新年あけましておめでとうございます。
組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、春先は天候に恵まれ地域によって降雹被害や竜巻の被害が見られたものの、概ね、平年並みに推移しておりました。しかしながら夏場は猛暑による記録的な高温多湿の影響を大きく受け、各作物の生育自体は、全般的に平年よりも早く進んできましたが、各作物等の収量および品質の低下が顕著となる残念な年でした。

新型コロナウイルス感染症の位置付けは昨年五月より五類に移行し、コロナ禍以前の日常を取り戻しつつありますが、各農畜産物の消費は依然として低迷しており、さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大なものとなっております。

さらにこれらの影響を受け、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっております。

現在、日本の食料自給率は三十八%しかありません。

これは、世界の先進国の中で最低の水産であり、六割以上の食糧を輸入に頼っているのが日本の現状です。

食料安全保障の強化が国家の喫緊の課題であることから、我が国の食料供給基地である北海道農業が果たしてきた役割、そして北海道農業への期待は、今後ますます大きくなるものと考えております。

J Aグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組むことが重要であり、国民の命の源である食を守り続けるにも、まさに新しい農業を築き、未来の世代へ繋いでいく必要があり、行政や全国連とも連携し、しっかりとその対応を図って参ります。

今年、第三十一回J A北海道大会が開催されます。

また、第三十回J A北海道大会の実践最終年度であり、決議された将来ビジョンである、「北海道五五〇万人と共に創る『力強い農

業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の成果をしっかりと検証し、次のJ A北海道大会に繋げていく必要があります。

このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越えることが重要となります。

消費者の皆様に対しては、今まで以上に農業・食に対する理解を求めるため、J Aグループ北海道統一の情報発信の「フレーズである「アグリアクション北海道」を浸透させ、より効果的な情報発信を行い、J Aグループが提唱する「国消国産」の認知を広めて参りましょう。

結びになりますが、本年は辰年です。辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になつて大きく成長し、形がととのう年だといわれています。

この謂われにあやかり、本年が豊穰の年となること、皆様のご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

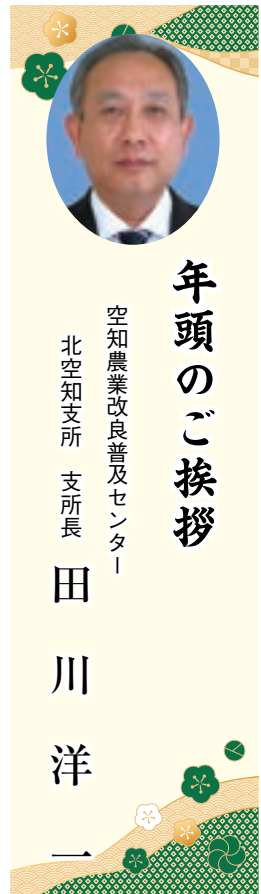
年頭のご挨拶

空知農業改良普及センター

北空知支所

支所長

田川 洋一



謹んで新春をお祝い申し上げます。

北いぶき農業協同組合の役員、組合員・御家族の皆様におかれましては、益々御健勝の事とお慶び申し上げます。また、日頃より普及センターの活動に御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

令和五年は、六月から九月の各月の平均気温が統計開始以来、過去最高を記録しました。また、夏日が八十日間、真夏日が二十日間を記録するなど長期間、高温に見舞われ、各農畜産物の生産に大きく影響しました。

気象庁の異常気象分析検討会の分析結果によると、七月後半以降の高温の要因は、①亜熱帯ジェット気流の北偏が顕著で高気圧に覆われた、②持続的な温暖化傾向に伴う地球的な高温傾向の影響、③北日本の記録的な高温には、周辺海域での海水温の顕著な高温状態

が影響した可能性もある、とされ、今後も続きそうな気配です。

令和五年産の主要農作物の生産を振り返りますと、水稲は、移植後の低温・強風の影響で分けつ発生が抑制され、穂数不足につながりました。その後の高温で出穂期は平年より三日早まりましたが、高温＋日照不足により草丈が長くなり、八月の台風七号により倒伏し品質が低下しました。高温登熟により白未熟粒、胴割粒が発生し、製品収量が例年より少ないと実感された生産者が多いと存じます。高温登熟で蛋白質含有率が高まりましたが、アミロース含有率が低いため、食味は良好です。

秋まき小麦は、は種が平年並で根雪までの期間が長かったため、根雪前の生育は平年を上回りました。融雪後も気温が高めに推移し、生育が進み登熟期間が短くなりました。品質は細麦が多く、製品歩

留まりは平年を下回りました。

大豆は、は種作業は平年並に終了し、開花後の高温で莢の伸長・粒肥大が順調で、成熟期は平年より三日早くなりました。収穫作業は平年より三日早く始まりましたが、高温と断続的な降雨で葉落ちと茎水分低下が進まず、収穫は平年より四日遅れて終了しました。収穫が遅れたほ場では、汚粒やカビの被害粒が多くなりました。

そばは、は種作業は平年より六日早く始まり、出芽は順調でした。高温のため、開花は平年より三日早くまりましたが、実が付かない「花そば」が発生しました。また、草丈は平年より二十cm程度長くなりました。八月に入り一部で収穫が始まりましたが、台風七号の強風により、倒伏、脱粒が発生しました。収穫は八月下旬から本格化しましたが、収穫終は平年より十三日遅れ、収量は低下しました。

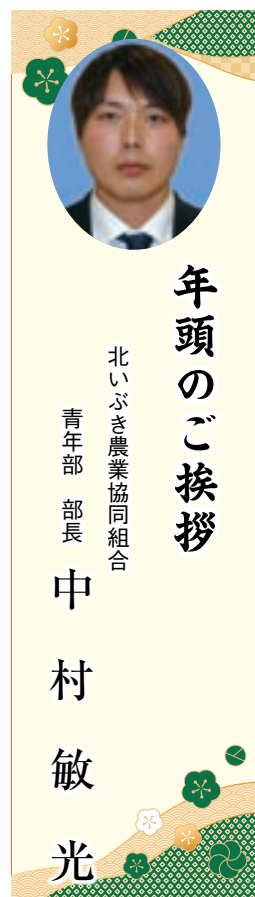
野菜類は、六月中旬からの高温の影響で生育が進み、一部の品目は収穫も前倒しになりました。また、五月、七月の少雨によりハダニ類、アブラムシ類の発生が多くなりました。七～九月は夜温上昇

と高湿度条件となり、病害が多発し、一部品目では出荷量が大幅に減少しました。

花きは、高温の影響で短茎化や出荷前倒しが見られました。また、花卉やガクの色抜けや変色も見られました。さらに乾燥条件化では、ハダニ類、アザミウマ類、カメムシ類が多発し、一部で被害を受けました。酪農・畜産は、飼料作物の収量は平年並でしたが、高温での牛の暑熱対策に御苦労されたと伺っており、日々の生産努力に敬意を表します。

これまで北海道の農畜産物生産は、耐冷・耐寒を基本に品目選定や品種開発、栽培方法を取り入れてきました。しかし、今後は高温を克服するための対策が求められ、一部は農試で研究開発が進められています。これらの研究成果がいち早く普及し、北海道の生産力がさらに向上することを願っております。

結びに本年が皆様にとって益々御健勝で実り多い年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

北いぶき農業協同組合

青年部 部長

中村 敏 光

新年明けましておめでとうございます。日頃より組合員の皆様には、我々青年部に格段のご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。また、三町行政、各関係機関、各関係団体の皆様におかれましても、多大なるご指導、ご協力を頂いておりますことを重ねて御礼申し上げます。

さて、令和五年度の水稻作柄を振り返って参りますと、春先は好天に恵まれ生育は順調に推移したものの七月、八月は連日の猛暑となり品質に大きな影響を与え、そして台風七号の強風による影響で広い範囲での倒伏がみられ収穫作業が思うように進まず刈り遅れを招いた。このような状況から水稻作況指数は北空知で「一〇二」とまずまずであったものの、高タンパク傾向や着色などの品質の悪さが目立ち、米価の上昇が実感でき

ず我々農業者の経営は依然として厳しい状況が続いています。

また、国内に目を向けてみますと、新型コロナウイルスは五月八日で第五類感染症へと移行し、行動の制限も解除され一応の収束を迎えたものの油断のできない状況が続いており、そしてロシアのウクライナ侵攻による影響から始まった物価高騰も続いており賃上げがついてこず、我々農業者のみならず日本国民全体が困窮し、日本経済に光が見えない状況が続いています。

青年部活動につきましては、新型コロナウイルスが第五類に移行したこともあり、コロナ禍以前のような事業を展開することができ、盟友同士盛んに交流しJAB北いぶき青年部の結束力もますます強固なものとなりました。

学習会事業においては、目まぐ

るしく変わる農業情勢に対応できる力を養うため、基本的な事から最新の技術、情報などを学ぶために、NOSA I講座、視察研修を行い、今後の営農に役立つ知識を得ることができました。

他にも地域や消費者の方々へのPR活動として、ファームレターやスノーメッセージの制作を行い、我々の農業に対する想い、安心・安全への取り組み、さらには食の大切さを消費者に伝えるために活動して参りました。

我々JAB北いぶき青年部は今でこそ一〇〇名を超える盟友が加入していますが、後継者不足に伴う盟友の減少は避けられない問題だと思えます。そのような状況の中でも、我々には生産量を維持し、安心・安全な北いぶき産米を安定的に供給していく責任があります。その為にも我々青年部は、北いぶきを支える基幹産業の担い手として、青年部活動を通じて仲間を作り、盟友同士の結束を図り、ますます精力的に活動していきたいと考えています。

最後に各関係機関、各関係団体

の皆様の一層の御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、組合員の皆様、青年部盟友の皆様のみならずの御健康、御多幸を祈念申し上げます、年頭の挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

北いぶき農業協同組合

女性部 部長

生田 ユカリ



新年あけましておめでとうございます。新年を迎え、心よりお慶び申し上げます。

また日頃より、女性部活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。

世界では、ロシアとウクライナの軍事侵攻が、終息を迎えるかと思えば、長期化して今もなお続いています。またイスラエル軍とイスラム組織のハマスがガザ地区で戦争を始め、いつも犠牲になるのは子ども達と一般の市民です。し



かも病院まで攻撃の手が入り、この平和な時代にどうして戦争が起き、止められないのでしょうか。とてももどかしい気持ちです。一日でも早く平和な日常生活が来るように心から願っています。

昨年を振り返りますと、盛夏により稲作は、豊作と見込まれていました。稲が倒伏してしまい、米質が悪くなり残念な年でしたが、米価の上昇に少しでも期待したいところです。

新型コロナウイルス感染症が第五類になり、女性部活動も再開され六月の部員研修では、脳トレと簡単なストレッチを行った後に、懇親会では焼肉も食べて、久しぶりに部員同士の交流もはかれ、とても有意義な時間となりました。参加していただいた部員の皆様、準備をしていただいた事務局の皆

様、火起こしをして下さった職員の皆様、本当にありがとうございます。おかげでとても楽しい活動になりました。

空知女性協議会の社会貢献活動として、雑巾を縫い各支部から、老人ホーム等へ寄付しました。活動に参加していただいた部員の皆様には、感謝申し上げます。

空知管内JA女性部長研修会で、東京に行ってきました。

JA横浜女性部・JAセレサ川崎女性部と、意見交換があり女性部に入部できる条件が、JA貯金に口座があれば、誰でも女性部に入ることができることに驚きました。入部の条件が私たちとは全然違い、都会なのに沢山の方が女性部に入られています。「ハッラツ」としていました。色々な趣味のサークル活動や直売所があり、手芸・スポーツ・踊り・歌等、沢山ありました。JAを中心にサークルの発表も開催され、部員の交流と活動の輪を広げているようです。

しかし、どこの地域にも部員減少が悩みと、私たちと同じ悩みを

持っていました。この研修の場に参加させて頂き、感謝申し上げます。他の地区の部長との交流も出来とても勉強になりました。

私たち女性部は、活動を通じて地域や仲間とのつながりを大切に、楽しく活動を続けていきたいと思っております。

これからも組合員の皆様、各関係機関の方々、より一層のご理解・ご協力を賜ますようお願い申し上げます。皆様におかれましては、本年も健康で幸せ多い一年でありますように、心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。





第四回 農事組合長会議

十一月三十日、秩父別温泉ゆう&ゆにて、令和五年度第四回目となる農事組合長会議を開催しました。

黒田組合長、竹内秩父別町副町長、田川普及センター北空知支所長の挨拶では令和五年の作柄に触れ、水稲をはじめとするJA管内での農作物のタンパク傾向やカメムシの被害状況などを説明頂きました。

その後JAより、米穀農産事業部からの報告事項を中心に農産物の販売状況、うるち米をめぐる情勢、中間米・屑米の精算等について説明しました。



質疑の場面 藤村健一さん（沼田地区・沼田東部西）



沼田地区



秩父別地区



妹背牛地区

冬期 農事組合別組合員懇談会・ 女性部・女性農業者との懇談会 女性役員登用に向けて

十二月四日から五日の日程で、各地区農事組合別・組合員懇談会を開催。

開催に当たり、黒田組合長を始め常勤役員から、令和五年産米の集荷状況のほか、令和四年産・五年産米の追加払いなど現況報告の後に、JAからは「令和五年産農畜産物販売支払高見込み」「うるち米をめぐる情勢」のほか、「女性役員登用へ向けた取り組み状況」など、二三項目に亘り報告・説明をさせて頂きました。

出席された組合員からは今年の天候を踏まえ、農産物への高温対策への取り組みなどを道や国に対してJAが働きかけて頂きたいなど、多くの貴重なご意見やご質問、ご要望を頂きました。また十二月六日には、支所毎に女性部・女性農業者を対象とした懇談会を開催。

JAからは、「令和五年産米の集荷状況」のほか、JAへの女性参画として令和七年度の役員改選へ向け、「女性役員登用へ向けた取り組み」について説明をさせて頂き、出席された女性農業者の方々からは、日常のJA業務における要望や女性役員登用への意見・質問などを頂き、取り組みに当たったの意見交換をさせて頂きました。

頂いたご意見を踏まえ、今後のJA運営に活かせるよう、役職員一同努めて参ります。



沼田地区・沼田東部西



秩父別地区・北新



妹背牛地区・妹背牛南



野田 真実さん（沼田地区・沼田中部）



田中 康雄さん（秩父別地区・稲豊）



田村 昌之さん（妹背牛地区・妹背牛北）



戸村千代美さん（秩父別地区・北新）



我部山真美さん（秩父別地区・北新）



田村かなえさん（妹背牛地区・妹背牛北）



栗原 明美さん（妹背牛地区・妹背牛北）



植木 千鶴さん（沼田地区・沼田東部西）



篠永美保子さん（沼田地区・沼田東部東）

令和五年度JA北海道大会実践フォーラム開催報告

十一月七日、ニューオータニイン札幌二階鶴の間に於いて、「JA北海道大会実践フォーラム」が開催されました。全道から七〇〇名を超える参加者が会場に集まる中、当JAからは常勤役員が参加するとともに、JA北いぶき本所からJA役員・青年部各支部長・女性部各支部長ら二十五名がオンラインで参加しました。



樽井 功 代表理事会長による挨拶

本フォーラムは、JAグループ北海道が自ら定めた進むべき方向「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立に向けた展開方向」や、大会で掲げた「北海道五五〇万人とともに創



オンライン参加の様子（於：本所大ホール）

る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の実現を目指すことを目的として開催され、開催にあたり、北海道農業協同組合中央会 樽井 功 代表理事会長からの挨拶後、基調講演が行われました。

本稿では、当日の講演・発表について概要を報告します。

基調講演

食料安全保障と食料・農業・農村基本法の改正について

一般社団法人 全国農業協同組合中央会

顧問 中家 徹 氏

JAグループが提唱する「国消国産」の理

解醸成に向けた活動を系統組織が連携して進めることの重要性、及び食料・農業・農村基本法の改正に向けた具体化が進む中で、引き続き政府・与党に働きかけを継続していくことが説明されました。

JAグループ北海道については、「食料安全保障の強化」と「持続可能な北海道農業の確立」の目標実現に向けた取り組みが高く評価されました。また、国消国産といった行動変容を国民・消費者に促すために掲げたJAグループ北海道における取り組みの実践、及びこのような取り組みが全国に波及することに期待が示されました。

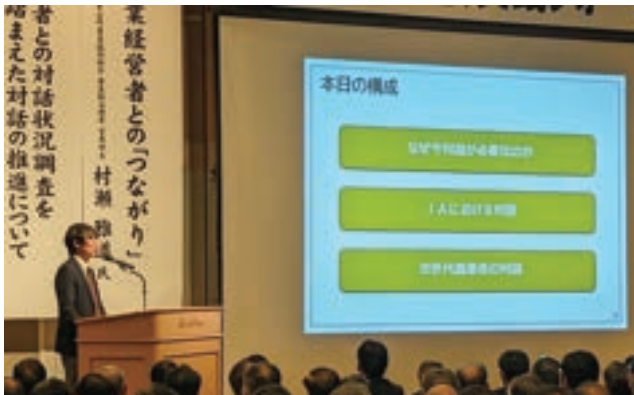
第三十回JA北海道大会の決議事項について

北海道農業協同組合中央会

参事 山元 勝博 氏

第三十回北海道大会（令和三年十一月十六日開催）で設定した「JA運営のスパイラスモデル（好循環）」の実現に向けた基本目標（実践期間（令和四年度～六年度））が改めて紹介されました。

設定した重点課題のうち「組合員の世代交代により顕在化した協同組合意識の希薄化」



フォーラムの様子

① 育成・JA各部署での業務研修、町・農業委員会ほか関係機関での専門研修、農業大学校・JAカレッジでの各種

を特に着目する課題としていること、及び組合員とJA役職員の対話を重ね自己改革の実践サイクルを継続することが説明されました。

実践事例発表 「JA運営の好循環」に向けて

対話の成果を実践

テーマ 次世代農業経営者とのつながり

芽室町農業協同組合

審査担当理事 営農部長 村瀬 雅道 氏

JAめむろで実施されている次世代農業者とのつながりに係る制度が紹介されました。



参加した青年部・女性部・JA役員

講座受講や資格取得、農家実習、JA販売先や農機メーカーの視察等・農業基礎や経営実務、経営継承といった農業経営講座の開催、国内外の視察研修、理事会の傍聴といった機会提供を通じた、農業経営・技術の向上、及びJA運営の活性化に向けた取り組み

② 対話・交流・各種対話・交流の場の設定、スポーツ大会等の開催

次世代農業者との対話状況調査を

踏まえた対話の推進について

北海道大学大学院農学研究院

准教授 小林 国之 氏

不確実性が高く正解を見通せない時代においては、従来通りの考え方・方法が通用しなくなっており、変化にどう対応すれば良いかを考える行動できる組織となることが求められていることが説明されました。このような現在の環境下においては、効果的な対話が重要であることが説明されました。

そして、対話から展望するこれからのJAとして、「対話を各JAの組織改革と位置付け、対話の先にあるものを示す」「日常、業務を通じて信頼を醸成する」「JAの仕事の使命を明確化する」ことが提言されました。

令和五年度農事組合長会視察研修



有限会社イーストファームみやぎ 赤坂代表取締役の説明を聞く

北いぶき農事組合長会（山下修会長）は、十一月九日から十一まで三日間、東北方面において視察研修を行いました。

研修には、各地区から七名の農事組合長が参加して宮城県内の農業法人や東日本大震災の被災地等を訪れ、復興に向けて取り組みされている活動や災害への備



大地震でひび割れした石造り壁の補強方法の説明を受ける

えについて深く学ぶ機会となりました。

視察先として農業法人二カ所のうち、最初に訪れた「有限会社イーストファームみやぎ」は、昭和五十七年、小島ユートピアカントリ計画を打ち出し、小島地区の四戸の農家で小島生産協業組合を設立。個人経営から脱皮し、農

業の合理化や近代化をめざす、稲作を中心とした生産組合としてスタートしました。さらに農業の新しい方向をめざして、平成六年、小島生産協業組合を解消し、現在の有限会社イーストファームみやぎを設立。従来の生産中心の農業形態から転換し、生産から加工販売まで行なう農業法人として再出発し現在に至っています。

二カ所目の農業生産法人「農事組合法人仙台イーストカントリ」は、平成二十年に、八人の構成員で設立。水稲三七ヘクタール、大豆一三ヘクタール等を栽培。二〇一一年には、東日本大震災による津波被害を受けましたが、復興支援を受けて営農を再開。自社で生産・加工した米、みそ、米粉等を販売まで行う農業法人として営まれています。

平成二十五年には、仙台市内に「おにぎり茶屋ちかちゃん」をオープン。仙台イーストカントリが生産したお米を使った、おにぎりのランチメニューが人気で好調に販売されています。

令和五年産大豆集荷

十月二十五日より、沼田農産物調製施設にて令和五年産大豆の集荷を開始しました。JA北いぶき管内では、米の収穫・出荷が落ち着きを見せだした十月下旬より、大豆の刈り取りが始まりました。集荷については十一月十日まで受入し、調製は、十一月下旬まで行われました。

本年度の降水量・日照・積算温度については、それぞれ平年値に比べやや多い年となり、生育当初より平年作から三日早い生育状況でした。品質については高温、降雨の影響で、低下傾向となりました。



ホッパーへ流し計量を行います

北いぶき 花卉蔬菜振興協議会道内視察研修



十一月六日から七日にかけ、北いぶき花卉蔬菜振興協議会（谷水敏和会長）は、道内研修を実施し十三名の生産者が参加しました。足寄町の農業機械会社である「株」キユウホー」を訪問しまし

た。主に野菜や畑作用途のカルチを製作されており、訪問時には製品工場を案内していただき、鉄筋や鉄板を切り抜く大型機械や溶接ロボット、カルチが出来上がるまでの製造工程を学びました。



JA北いぶき青年部 本部視察研修



十一月九日から十日にかけ、JA北いぶき青年部（中村敏光部長）は本部事業として道内での視察研修を実施し、盟友三十八名が参加しました。

初日は、ホクレンパールライス工場を訪問しました。こちらでは精米工場として玄米や精米、製品の包装、出荷までの過程を映像を使って説明を受けた後、工場内を見学し、製造工程を学びました。



翌日はサップポール博物館を視察。北海道で収穫した麦がどのよう加工されているのかを見学し製造工程やサップポールの歴史を学びました。

第五十六回令和五年度

JA北海道女性大会・北海道家の光大会

J A北いぶき女性部（生田ユカリ部長）役員六名は十一月九日（十日、札幌プリンスホテルにて開催された、令和五年度J A北海道女性大会・北海道家の光大会に参加してきました。全道各J Aから約三八〇名が参加しました。



一日目は、家の光記事活用体験発表で四名の方が最優秀賞を決めるべく発表会を行いました。最優秀賞は釧路地区、J Aしべちや女性部の岩本博美氏が受賞しました。その後は休憩をはさみ、「迷い・ストレスから自由になる心の持ち方」をテーマに僧侶・作家でもある草薙龍瞬氏に講演を行っていただきテーマのような気持ちの生き方ができるようになるためには、成長過程で何を学ぶ必要があるのかを時折笑いを交えながらお話ししていただきました。

二日目はグループワークが中心で同じ班になったメンバーと話すテーマを自分たちで決め、最後に内容をまとめ発表を行いました。

本大会は毎年開催されており、宿泊を伴う今年度の大会は四年ぶりの開催ということもあり、中々会う機会のない道東や道北などの女性部と交流ができ大変貴重な二日間となりました。

最後に女性の歌を全員で合唱し閉会式をもって終了致しました。



参加者の様子

十一月二十一日、本所三階大ホールにて、J A健康寿命百歳プロジェクト対策協議会主催の「令和五年度 家庭介護教室」がWeb形式にて行われました。

秩父別三名・妹背牛四名・沼田四名の計十一名（内一〇名女性部）が参加し、J A北海道厚生連の斎野涼介氏、帯広厚生病院の河本友香氏と佐々木祐輔氏にご説明頂きました。

研修プログラムとしては、「認知症への理解」、「家庭介護のトラブル」や「応急処置の基礎知識」、「介護食づくりの工夫」などを学ぶことができました。高齢化率ならびに後期高齢化率の高まるなか、正しい知識を身につけることで、貴重な時間を過ごしました。

JA北いぶき女性部
家庭介護教室

絆

～ THE YOUTH FACE ～

職業として農業を選択した理由

子どもの頃、種まき・田植えの手伝いや親の姿を見ていて、休みなく大変な仕事だなと思いました。いずれは自分もと思っていたので、大学卒業後に就農しました。まだまだ分からないこともあり教えてもらいながら勉強の毎日ですが、とてもやりがいのある仕事だと思います。

今後の営農について

まだまだ若輩者ですが、北海道米は知名度もあり、それに見合った米作りを目標に、まず現状を維持し安定した仕事をできるよ

うに頑張ります。

近年は天候の変動により収量・品質に将来の不安はありますが、ゆくゆくは作付面積の増加、それに伴った経営方針について考えていかなければならないと考えています。

青年部活動について

青年部に入部した当初、同級生もいなく、知り合いもほとんどいないなかで、入部したことを少し後悔していました。ですが、優しい先輩方のもと農業に関する話などいろいろ聞くことができ、青年部事業を通じ

て地域の方々との交流もでき、非常に貴重な体験をさせてもらっています。

農業を共に育む家族について

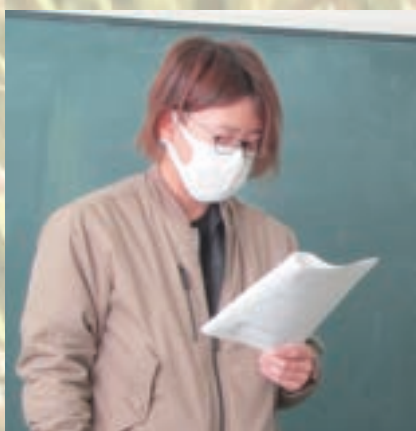
現在、親と共に営農をしていますが、今後できなくなると考えるとどのように営農していくか不安ですが、家族と営農できる間に困ったことがあれば支えてもらえたらと思います。



宮野 穰司さん

妹背牛地区・妹背牛北

作付品目
水稻



小学校食育事業の様子



妹背牛豊年祈願盆踊り大会の様子

理事会報告

第十回理事会（十二月二十八日付）

【報告事項】

管理本部

- 当面における農協行事予定について
- 固定資産の取得・処分・主要修繕費の支出について
- 組合員加入・脱退等の申し出について
- 疑わしい取引の届け出状況について
- 余裕金の運用計画額について
- 「自己査定マニュアル」および、「担保評価マニュアル」の一部改正について
- 職員の動向について
- 永年勤続職員表彰対象者について

金融共済事業本部

- 長期資金の貸出し状況について
- JA農業経営緊急支援資金のご案内について

- 「クミカン収支見込み」の送付について

営農販売事業本部

- うるち米をめぐる情勢について
- 令和五年度米施設検査見込数量について
- 令和五年度農畜産物販売支払高見込みについて
- 令和五年度中間米・屑米精算について
- 令和五年度施設調製大豆の仮渡金について
- 令和五年度産米集荷奨励対策金の支払について
- 令和六年営農計画書に係る主食用米販売収入計画について
- 令和五年度 花卉・蔬菜の取扱実績について
- 肥料価格高騰対策事業（国）の支援金について

購買施設事業本部

- 購買施設事業実績検討表（十月末）について

【決議事項】

議案第一号

令和五年度事業収支見込（十月末基準）及び、定時給与（年末手当）の支給について

議案第二号

「マネー・ローンダリング等および反社会的勢力等への対応に関する基本方針」および、「マネー・ローンダリング等への対応に関する規程」の一部改正について

議案第三号

「資産査定要領」の一部改正について

議案第四号

「自動車運行管理規程」の一部改正について

議案第五号

「育児および介護休業規程」の一部改正について

【協議事項】

- 信用限度八〇%を超える貸付の承認について

- 令和六年度営農計画書算定に係る販売単価について

- 第八次地域農業振興計画の概要、農協中期経営計画の策定に向けて

- 令和五年度年末組合員懇談会の開催に係る日程及び提出議案等について





協力して調理しました

調理後試食会を行い、全ての料理を「美味しい」等感想を言い合い試食し、「家でも作ってみたい」といった声も聞こえてきました。

最後まで、絶え間なく会話し、皆さん大変満足した様子で研修を終えました。

女性部沼田支部（生田ユカリ支部長）は十月十八日、沼田町にある健康福祉センターにて、部員研修として「地場産品使用の料理教室」を開催し、部員二六名が参加しました。

沼田町役場農業推進課源栄養士に講師をして頂き、源栄養士考案の四品を作りました。「スパイストマトカレー」、「菊芋チップスと小松菜のお浸し」、「椎茸ドレッシング」、「トマトジャムのマープルチーズケーキ」を参加者で協力し、手際よく作っていました。

女性部沼田支部

部員研修



可愛らしい作品の出来栄えに参加された皆さんは大変喜んでおりました。

女性部秩父別支部（岡崎恵子支部長）は十月二十五日、本所中会議室にて深川市花パレットよりお越しの方々を講師に多肉植物寄せ植え講習会を開催し、部員二一名、子ども一名が参加しました。

直径三センチ程度のポットに入っている様々な種類の多肉植物を七個選んで、土を敷き詰めた可愛らしい木箱に配置場所を考えながら寄せ植えを行いました。仕上げに小さい小物を飾ったり、「カラーサンド」と呼ばれる色のついた砂を黄色、水色、ピンクの三種類ご用意していただいたので、お好みで土の上に撒いて完成いたしました。

女性部秩父別支部

多肉植物寄せ植え講習会



皆さんに喜んで頂けたようです



早朝からたくさんの豆腐を作りました

女性部妹背牛支部 助け合い組織運動

十一月二日、女性部妹背牛支部（西村智子支部長）は助け合い組織運動として、独居老人宅（一部生活支援施設入居者含む）に手作り豆腐を配布しました。

早朝より役員五名と連絡委員四名の計九名で豆腐を作り、午後から民生委員の方々に協力いただいで約一四〇戸のお宅に配布を行いました。

手作り豆腐を楽しみに待っている方は多く、「楽しみにしていたよ」「いつもおいしいお豆腐をありがとう」とのあたたかい言葉をいただきました。



青年部沼田支部 米消費拡大事業

青年部沼田支部（中村敏光支部長）は、十一月五日に札幌市内のコープさっぽろルーシー店の店頭にて北いぶき産「ななつぼし」の新米キャンペーンを行いました。

当日は、店頭の特設売り場では、「ななつぼし」について説明や試食を進めることでPRを行いました。中には、「いつも買っている」とおっしゃっていた方や、試食をして「おいしい」と購入して頂いた方もいらっしや、多くのお客様にご購入いただけました。

お客様の声を直接聞くことができるこの事業は、消費者の皆さんの考えを知る機会でもあり、生産者の皆さんが、お米作りでの取り組みなどをより知ってもらえる重要な機会となっております。



女性部秩父別支部 エルダー部員研修

秩父別支所エルダー（高橋信子会長）は、十一月六日（七日）に部員研修を実施し、部員一三名が参加しました。

初めに本所中会議室にて深川警察署生活安全課の方にお越しいただき、詐欺講習会の講師を務めていただきました。様々な手段でお金をだまし取るうとする詐欺にどのように対応したらよいのか、実際の音声を聴いてみると、ATMでの操作説明を受けながら指示に従う被害者と、お客様番号と偽り金額を入力させ振り込ませようとする詐欺師のやり取りは、自分が被害にあっても、詐欺に気づいて対処できるようにしなければと思わせられる内容でした。

講習会終了後、東川町にあります森のゆホテル花神楽に移動し、懇親会では恒例のビンゴ大会を行い日々の疲れを癒す良い部員研修となりました。



女性部妹背牛支部 フレッシュユミズ道内研修

女性部妹背牛支部フレッシュユミズ（町田いずみ会長）は十一月七日（八日）にかけて札幌方面にて会員六名、お子さま二名の計八名で道内視察研修を行いました。

一日目はホクレンくるるの杜にて、スーパーバイヤーの方から施設の説明を受け、直売所やレストランを堪能しました。他にもエスコンフィールドHOKKAIDOにて、広大な野球場を体感できるスタジアムツアーに参加しました。また農業学習施設KUBOTA AGRIFRONTにて、「食と農業」をテーマに、地球環境にやさしい農業と生活における食品の大切さを学ぶことができました。

二日目はロイズカカオ&チョココレートタウンにて、チョココレートの種類やトッピング・型などを選択して、オリジナルチョココレートを作る体験をしました。見学・体験できるフロアもあり、バラエティに富んだ施設にて楽しく豊かな研修ができました。お買い物も楽しんだ後、佐藤水産にて昼食を取り、道内視察研修は終了しました。



女性部沼田支部 フレッシュユミズ部員研修旅行

J A 北いぶき女性部沼田支部フレッシュユミズ（原田亜希子会長）は十一月十日に砂川、新十津川への研修旅行を開催し、部員五名が参加しました。

砂川市にある「シロみんなの工場」にて、工場見学とマイフレグランス作り体験を行いました。その後、「みんなの工場」内の「シロカフェ」で昼食をとりました。

午後からは新十津川町にある「文化伝習館」にて陶芸体験を行いました。手回しろくろを使用し、個性豊かな素敵な作品が出来上り、楽しんで研修旅行を終えました。



女性部沼田支部 寿会 一夜研修

女性部沼田支部寿会（沼本幸子会長）は十一月十三日・十四日に沼田町幌新温泉にて、一夜研修を開催し一名の会員が参加しました。

沼田町役場保健福祉課鈴木保健師を講師としてお迎えし、「沼田町における福祉施設の説明及び、高齢者福祉関連について」お話をさせて頂きました。

福祉施設のパンフレットや高齢者福祉についての様々な資料を配布して頂き、会員はその資料に目を通しながら、鈴木保健師のお話を興味深く聞いていました。会員からの質問にも丁寧に答えて頂き、大変学びのある研修となりました。

研修後は懇親会を行い、会員同士の交流を深めました。

女性部妹背牛支部

役員視察研修



女性部妹背牛支部（西村智子支部長）は十一月十四日～十六日にかけて函館にて役員研修を行いました。一日目はザ・グラススタジオイ

ン函館にて、サンドブラスト体験をしました。ガラスのコップにシールを貼ってデザインしガラスの表面を機械で削り、オリジナルの手作りガラスコップを作りました。その後は金森倉庫にて買い物を楽しみ、夕食には函館イタリアンTou iにてパスタのコース料理を味わいました。

二日目は早朝にホテルを出て、函館朝市にて海鮮丼を食べました。その後、駅からのシャトルバスで五稜郭に移動し、五稜郭公園内の歴史ガイドツアーをボランティアガイドの方にしていただきました。昼食は函館ビヤホールにてとり、食後にはゆつくりと海沿いの道を歩き坂を上って、旧イギリス領事館と旧函館区公会堂、カール・レイモン歴史展示館を見学しました。夕食は函館ダイニング雅家にて海鮮のコース料理を楽しみました。

長い移動時間と徒歩での移動を伴いましたが、道中でもにぎやかに楽しく過ごして充実した研修となりました。

永年勤続職員表彰

十一月二十四日、JA北いぶきは令和五年に勤続三〇年、二〇年を迎えた職員に永年勤続表彰を行い、JA黒田組合長より記念品と感謝状が贈呈されました。今回表彰された職員は次の通りです。

【勤続三〇年】

澤田 和博
（営農推進事業部長）

青木 祐二
（管理部次長）

佐々木 克行
（管理本部付株式会社まっすり沼田出向考査役）

大坂 崇博
（秩父別支所花卉蔬菜課長）

辻 公彦
（秩父別支所農機車輛課長）

大川 絵里
（沼田支所貯金共済課共済係長）

【勤続二〇年】

小林 和利
（秩父別支所生産資材課長）

白峰 真樹
（営農販売事業本部付北空知広域連出向考査役）

福原 博志
（秩父別支所花卉蔬菜課花卉蔬菜係長）



左から白峰考査役、小林課長、福原係長



下段左から佐々木考査役、澤田部長、青木次長
上段左から辻課長、大坂課長、大川係長

PHOTOだより



12月6日女性部・女性農業者との懇談会を行いました

◀ 沼田地区



▲ 秩父別地区

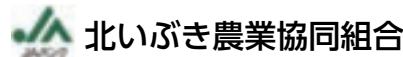


◀ 妹背牛地区

Contents

● 年頭のご挨拶 北いぶき農業協同組合 代表理事組合長 黒田洋一 — 2	● 第56回令和5年度 JA北海道女性大会・北海道家の光大会 — 14
● 年頭のご挨拶 北海道農業協同組合中央会 代表理事会長 樽井 功様 — 3	● JA北いぶき女性部 家庭介護教室 — 14
● 年頭のご挨拶 空知農業改良普及センター 北空知支所 支所長 田川洋一様 — 4	● 絆 — 15
● 年頭のご挨拶 北いぶき農業協同組合 青年部 部長 中村敏光様 — 5	● 理事会報告 — 16
● 年頭のご挨拶 北いぶき農業協同組合 女性部 部長 生田ユカリ様 — 6	● 女性部沼田支部部員研修 — 17
● 第4回農事組合長会議 — 7	● 女性部秩父別支部 多肉植物寄せ植え講習会 — 17
● 冬期 農事組合別組合員懇談会・女性部・女性農業者との懇談会 「女性役員登用に向けて」 — 8～9	● 女性部妹背牛支部 助け合い組織運動 — 18
● 第31回 令和5年度JA北海道大会実践フォーラム — 10	● 青年部沼田支部 米消費拡大事業 — 18
● 令和5年度 農事組合長会視察研修 — 12	● 女性部秩父別支部 エルダー部員研修 — 19
● 令和5年産 大豆集荷 — 12	● 女性部妹背牛支部 フレッシュミズ道内研修 — 19
● 北いぶき花卉野菜振興協議会道内視察研修 — 13	● 女性部沼田支部 フレッシュミズ部員研修旅行 — 20
● JA北いぶき青年部本部視察研修 — 13	● 女性部沼田支部 寿会一夜研修 — 20
	● 女性部妹背牛支部 役員視察研修 — 21
	● 永年勤続職員表彰 — 21
	● PHOTO だより — 22
	● 各種取扱手数料の一部改定 — 23
	● 共済課 — 24
	● 年末年始営業時間について — 28

お客さま 各位



各種取扱手数料の一部改定のお知らせ

平素より、JAバンクをご利用いただき誠にありがとうございます。

このたび、下記のとおり貯金窓口における各種取扱手数料の一部を改定させていただくことになりましたので、お知らせいたします。

今後も、お客さまにご満足いただけるよう、より一層のサービス・利便性の向上に努めてまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

適用開始日 令和6年2月1日(木)より

単位：枚、円

分類	項目	改定前 手数料	改定後 手数料
両替 手数料 (1回につき)	1～50	無料	無料
	51～100	無料	220
	101～500	330	440
	501～1,000	660	660
	1,001～1,500	990	1,100
	1,501～2,000	1,320	1,320
	2,001枚以上 500枚毎に330円を加算	330	440
大量硬貨整理 手数料 (1回につき)	1～100	無料	無料
	101～500	無料	440
	501～1,000	330	440
	1,001～2,000	550	550
	2,001枚以上、1,000枚毎に220円を加算	220	220
金種指定 手数料 (1回につき)	1～500	無料	無料
	501～1,000	660	660
	1,001～1,500	990	1,100
	1,501～2,000	1,320	1,320
	2,001枚以上 500枚毎に330円を加算	330	440

※両替枚数は、両替前の枚数と両替後の枚数のどちらか多い方の枚数をカウントします。

※次の場合は、従来どおり「無料」といたします。

- ① 同一金種の新券への両替 ② 汚損した現金の交換 ③ 記念硬貨との交換

※金種指定(支払)手数料は、金種指定の紙幣と硬貨の合計枚数でカウントします。

JAの自動車共済にご加入の皆さまへ

大切なお役立ち情報のご案内



事故時・故障時などまさか!のとき、スマートフォンアプリからすぐ連絡できます。

Webマイページ



交通事故時や災害時における事故連絡がスムーズに行える「JA共済アプリ」をご登録ください。

JA共済アプリのご登録は、Webマイページからが便利です。

JA共済アプリ 充実機能紹介

もっと便利に

Webマイページへワンタッチアクセス

- WebマイページとID連携し、ご自身の加入内容の確認ができます。
- ご契約の住所・電話番号の変更などの真動手続きが可能です。



もっと便利に

JA支店担当者とオンライン面談が可能に

- いつでも、どこでも、契約相談等でJA支店担当者とオンライン上での面談ができます。

もっと身近に

JAへの連絡がお手軽に

- 契約情報をもとに、支店単位で契約JAが自動表示され、検索機能を使わずにすぐに連絡することができます。

もっと安心・満身に

毎日の暮らしに役立つ充実したコンテンツ

- 健康増進(げんきなカラダプロジェクト)をはじめ、お金・リスク、防災・防犯、食・くらし等のお役立ちコンテンツの閲覧が可能です。
- 気になる共済の資料請求や掛金試算も可能です。

もっと便利に

すぐに事故連絡(くるま・いえ)

交通事故時・災害時の事故連絡やレッカーロードサービスなどの安心サービスの手配が簡単にできます。

Webマイページの契約情報やモバイル機能(カメラ・GPS)を使い、どの契約でどんな事故があったかをすぐに連絡可能です。(安心サービスの詳細につきましては、裏面をご覧ください。)

※アプリのご利用時の通信料はご利用者さまのご負担となります。
 ※本アプリはスマートフォン向けアプリのため、フィーチャーフォンの場合はご利用いただけません。また、お使いのスマートフォンの機種・設定によってはご利用いただけない場合があります。

JAの自動車共済 事故時・故障時 安心サービス に頼れる

JA共済

24時間・365日いつでも受付!! 毎日のカーライフをサポートします!!

▶ 夜間の交通事故も安心 ☎ 0120-258-931

◆ 事故受付サービス ◆

最も不安な“事故直後”をサポートする安心のサービスです。

※サービスは、JAの営業時間外にフリーダイヤルへご連絡いただいた事故が対象となります。サービスのご利用にあたっては、一定の条件があります。

夜間休日現場急行サービス

平日・0～8時、17～24時、土日・祝日・休日



ALSOK対応員が事故現場に急行し、事故状況の聞き取りなどを行います。

夜間休日初期対応サービス

平日・17～21時、土日・祝日・休日



スタッフがご利用者さまからの相談対応や相手方への迅速な対応を行います。

休日契約者面談サービス

金曜・祝日・17～24時、土曜・休日、日曜・祝日・0～17時



スタッフがご利用者さまを訪問し、事故に関するご質問・ご相談に親身にあたえます。

▶ 突然のトラブルも安心 ☎ 0120-063-931

◆ レッカーサービス ◆

片道100kmまでのけん引



脱輪時の引き上げ



◆ ロードサービス ◆

キーの閉じ込み



バッテリーあがり



スペアタイヤ交換



ライト・ヒューズ交換



オイル点検・補充



ガス欠時のガソリン補充



※30分程度で対応可能な応急修理が対象となります。※部品・オイル・ガソリン代は別途有料となります。

事前にJAまたはJA共済サポートセンター（JA共済事故受付センター）に要請された場合に本サービスの対象となります。

（ご自身で手配された場合は本サービスの対象外となります。）

JAの営業時間内は、ご契約先のJAまでご連絡ください。※サービスのご利用にあたっては、一定の条件があります。

この資料は概要を説明したものです。ご利用にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご確認ください。また、ご契約の際は、「重要事項説明書（注意喚起事項）」および「契約のしおり」の裏面を必ずご確認ください。

お問い合わせは

JA北いぶき

本所 共済課 0164-33-2011
妹背牛支所 貯金共済課 0164-32-2451
沼田支所 貯金共済課 0164-35-2221

【23010784041】



雪による 被害の備えは万全ですか？

屋根からの落雪
で軒先や窓ガラ
スが壊れた

雪に押され
てシャッター
が壊れた

寒波による
水道管が凍結し、
破損した



建物・家財
への備え

備えるなら、いまのうちに!



水道管凍結 による損害が発生したとき

修理費用を
全額保障
します



※1回の事故につき、10万円が限度です。

雪災 などのとき

損害の額を
全額保障
します



※火災共済金額が限度です。

「手順に備える500万」プラン

保障金額（火災共済金額）：500万円
満期額（満期共済金額）：20万円
保障期間：20年（継続回数1回）、木・防火造
語特費用共済金：30% 実損保障付
※住宅は協定共済価額：2,000万円
当初10年間の掛金（月払/口座振替扱い）
※令和1年4月現在の法令・利率等に基づきます

<住宅保障>

月 3,899円

<家財家具保障>

月 2,412円

お問い合わせは

JA北いぶき

本 所 共 済 課 0164-33-2011
妹背牛支所 貯金共済課 0164-32-2451
沼田支所 貯金共済課 0164-35-2221

※共済金のお支払いには、それぞれ一定の条件・要件がございます。詳しくはJ Aまでお問い合わせください。
※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際は、「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。
<23010011029>

農業者賠償責任共済



農地や農業施設の所有・使用・管理や農作業に起因する損害賠償責任への保障をお考えの方におすすめます！

農業者賠償共済はこんな時にお役に立ちます

～農作業中における損害賠償事例～

事例①

畑で**農薬を散布**していたところ、**薬剤が風にあおられて**、隣の農家の畑に飛散し、生育不良となった。
(ドリフト)



損害賠償額 約 **510** 万円

事例②

肥育している牛が**敷地外へ脱走し**、走行中の車両と接触、車両に損害を与えた。



損害賠償額 約 **70** 万円

事例③

草刈りの作業中に巻き上げた小石が付近を走行していた車に当たり、破損させてしまった。



損害賠償額 約 **115** 万円

※お支払いには所定の条件があります。 ※損害賠償額はJAグループ調べ

農業者賠償責任共済の3つの特長

安心

幅広い賠償責任をカバー
多くの農業者共通の4つのリスクに対して1つの共済で総合保障。

施設賠償リスク

生産物賠償リスク

保管物賠償リスク

生産物回収費用リスク

シンプル

わかりやすい共済掛金設定
基準となるのは農地面積とご希望の支払い限度額のみ。
3つのプランをご用意しています。

3,000万円コース

5,000万円コース

1億円コース

簡単

自動継続で手間いらず

1年で自動継続するため、面倒な継続手続き等は不要（農地面積に変更がある場合等除く）。



○共済掛金例：共済期間1年

(2023年4月現在)

農地面積	支払限度額		
	3,000万円コース	5,000万円コース	1億円コース
0.5ha未満	5,760円	6,500円	8,050円
0.5ha以上 1ha未満	6,950円	7,850円	9,720円
1ha以上 2ha未満	8,390円	9,470円	11,730円
2ha以上 4ha未満	10,120円	11,430円	14,150円
4ha以上 20ha未満	18,610円	21,010円	26,010円
20ha以上 50ha未満	48,280円	54,520円	67,490円
50ha以上 100ha未満	75,210円	84,920円	105,130円
100ha以上 200ha未満	92,830円	104,810円	129,770円
200ha以上 300ha未満	105,820円	119,470円	147,910円
300ha以上 400ha未満	114,360円	129,120円	159,860円
400ha以上 500ha未満	120,760円	136,340円	168,810円
500ha以上 (以降100haあたり)	+3,690円	+4,170円	+5,160円

POINT!

共済掛金は**必要経費**として計上することができます。

※法人は損金算入可能



農業者を取り巻くリスクは身近に存在しており、**農地や農業施設の所有・使用・管理、農作業に起因する損害賠償事故が多く発生している**ため、農業者賠償責任共済（ファーマスト）のご加入をご検討ください。

お問い合わせは

JA北いぶき

本所 共済課 0164-33-2011

妹背牛支所 貯金共済課 0164-32-2451

沼田支所 貯金共済課 0164-35-2221

 JA共済

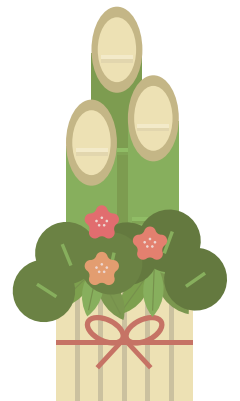
※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

[23019990030]

● 年末・年始の営業時間について ●

部 門 月 日	給 油 所 (セルフスタンド)		貯金共済店舗	A T M		生産資材店舗 農機車輛店舗	事 務 所 (融資経済課 窓口含む) 営農販売事務所 (秩父別)	
	秩父別	妹背牛・沼田		秩父別	妹背牛・沼田			
12/29(金)	7:30～ 19:00	8:00～ 18:00	9:00～ 16:00 (仕事納め)	9:00～ 18:00	9:00～ 18:00	9:00～ 16:30 (仕事納め)	8:45～ 17:00 (仕事納め)	
12/30(土)	7:30～ 19:00	8:00～ 18:00	休 業	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00	休 業	休 業	
12/31(日)	7:30～ 15:00	8:00～ 15:00		休 業	休 業			休 業
1/1(月・祝)	休 業	休 業		休 業	休 業			休 業
1/2(火)				休 業	休 業			休 業
1/3(水)				休 業	休 業			休 業
1/4(木)	7:30～ 19:00	8:00～ 18:00	9:00～ 15:00	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00	休 業	休 業	
1/5(金)	7:30～ 19:00	8:00～ 18:00	9:00～ 15:00	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00	休 業	休 業	
1/6(土)	7:30～ 19:00	8:00～ 18:00	休 業	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00	休 業	休 業	
1/7(日)	7:30～ 19:00	休 業	休 業	9:00～ 17:00	休 業	休 業	休 業	
1/8(月・祝)	7:30～ 19:00	8:30～ 17:00	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業	
1/9(火)	7:30～ 15:00	8:00～ 15:00	9:00～ 15:00	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00	9:00～ 15:00	8:45～ 15:00	

(株)まちづくりぬまた 物産サービスセンター	12月31日 8:30～17:30 1月1日～1月3日 休 業 1月4日以降 8:30～17:30(土・祝日 8:30～17:00)
ダ・マルシェ 沼田店	12月31日 9:00～17:00 1月1日～1月2日 休 業 1月3日以降 9:00～19:00
(株)ホクレン商事 (エコーブ秩父別店)	12月28日・29日・30日 9:00～19:00 12月31日 9:00～18:00 1月1日・2日 休 業 1月3日 10:00～18:00 1月4日以降 10:00～19:00



※広報誌に掲載された写真及び記事については、JA北いぶきのホームページにて使用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

発行日 令和5年12月25日 発行元 北いぶき農業協同組合 北海道雨竜郡秩父別町1298番地の8 編集 管理本部 TEL 0164-33-2011 FAX 0164-33-3311 ホームページアドレス http://www.ja-kitabuki.or.jp/